

「ヘルメットの義務化」

荒川の河川敷の道を歩いていると、横をすごいスピードで自転車が走る。何人かでツーリングしているのか、ヘルメットをかぶり、そろいのウェアを着ている。自転車は便利で楽しい乗り物である。自転車を使えば、遠くでもさほど体力を使うことなく行くことができる。また、車なら道が渋滞していて予想以上に時間がかかることもあるが、自転車ならある程度時間が読める。私はあまり自転車に乗らない。決して嫌いなのではなく、使う機会が少なく、どちらかという歩く方を選択する。それでも、春や秋の気候が良い時はサイクリングロードを走ってみたいと思う。

昨日、自転車利用者のヘルメット義務化のニュースが流れていた。改正道路交通法によると、来年4月から全ての自転車利用者にヘルメットの着用が義務づけられるという。罰則のない努力義務となる。すでに13歳未満の子どもについては、保護者に着用させる努力義務が課せられているが、対象が拡大され、自転車を利用するすべての人に、ヘルメットを付けることが求められる。実は、すでに東京都では、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」第15条で、「保護者は、その監護する18歳未満の者に反射材を利用させ、乗車用ヘルメットを着用させる等の必要な対策を行うよう努めなければならない（一部抜粋）」としている。

なぜ、ヘルメットを付ける必要があるか。警察庁によると、昨年までの5年間に自転車乗車中の事故で亡くなった人は2千人を超えている。そのうち、約6割の人が頭部に致命傷を負っていた。死傷者数に占める死者の割合を示す「致死率」は、着用者が0.26%だったのに対し、非着用者は約2.2倍の0.59%だった。ヘルメットをしていれば、重大事故になる可能性が低くなることを示している。民間団体の調査によると、自転車のヘルメットの着用率の全国平均は11%だそうだ。

「努力義務化」されている13歳未満が63%だったのに対し、それ以上の年齢層では7%程度にとどまっている。今回、全国一律に義務化することで一層の着用促進を図られそうだ。自転車に乗るときは、ヘルメットを着けるようにしよう。

12月21日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 1から200までの整数を考えます。5の倍数ではなく、3で割ると2余る整数はいくつありますか。